

## 第二種衛生管理者試験解答解説(平成 27 年 10 月公表)

〔関係法令〕

問 1(2)

- (1) 衛生管理者は、選任すべき事由が発生してから「14 日以内」に選任しなければならない。
- (2) 正しい
- (3) 1000 人を超え 2000 人以下の事業場では少なくとも「4 人」の衛生管理者を選任しなければならない。
- (4) 衛生管理者を2人以上選任する場合は「1人」まで専属でない労働衛生コンサルタントを選任することができる。
- (5) 常時使用労働者数が 1000 人を超える事業所では少なくとも「1 人」を専任の衛生管理者としなければならない。

問 2(5)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 衛生管理者は少なくとも毎「週」1 回、作業場を巡視する義務がある。

問 3(5)

- (1) 衛生委員会は業種に限らず常時 50 人以上の労働者を使用する事業場において設置しなければならない。
- (2) 衛生委員会と安全委員会に代えて安全衛生委員会を設置することは可能である。
- (3) 事業場で選任している衛生管理者は、すべてではなく、少なくとも 1 人を衛生委員会の委員としなければならない。
- (4) 衛生委員会の議長となる委員は衛生管理者でなくてもよい。
- (5) 正しい

問 4(1)

- (1) 雇入時の健康診断の項目は医師の判断では省略することは出来ない。
- (2) 違反していない
- (3) 違反していない
- (4) 違反していない
- (5) 違反していない

問 5(2)

- (1) 正しい
- (2) 面接指導は「労働者の申出」により行われる。
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 6(5)

- (1) 誤り
- (2) 誤り
- (3) 誤り
- (4) 誤り
- (5) 「派遣元」「派遣先」双方がそれぞれの所轄労働基準監督署に届け出る必要がある。

問 7(5)

- (1) 違反していない
- (2) 違反していない
- (3) 違反していない
- (4) 違反していない
- (5) 定期的な大掃除は「6カ月」ごとに1回行わなければならない。

問 8(2)

- (1) 事務室の照明設備は「6か月」以内ごとに 1 回の点検が必要である。
- (2) 正しい
- (3) 燃焼器具は発熱量が著しく少ないものを除き「毎日」点検をしなければならない。
- (4) 空気調和設備内に設けられた排水受けは原則として「1 か月」以内ごとに 1 回清掃を行わなければならない。
- (5) 加湿装置は原則として「1 か月」以内ごとに 1 回の点検が必要である。

問 9(1)

- (1) 就業規則の作成又は変更には、過半数労働組合(過半数代表)の「意見」を聞けば良く同意は不要である。
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 10(3)

- (1) 誤り
- (2) 誤り
- (3) 正しい
- (4) 誤り
- (5) 誤り

〔労働衛生〕

問 11(5)

(1) 正しい

(2) 正しい

(3) 正しい

(4) 正しい

(5) 必要換気量の算出に当たっての室内二酸化炭素基準濃度は、通常「0.1%」とする。

問 12(3)

(1) 正しい

(2) 正しい

(3) WBGTは「自然湿球温度」「黒球温度」「乾球温度」から算出される。

(4) 正しい

(5) 正しい

問 13(2)

(1) 正しい

(2) 全般照明と局部照明を併用する場合、全般照明における照度は、局部照明による照度の1/10「以上」必要である。

(3) 正しい

(4) 正しい

(5) 正しい

問 14(2)

- (1) 正しい
- (2) 直接照明は光の利用率は高いが、照明が不均等になり陰影などを伴い、目の疲労を起こしやすい。
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 15(4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 健康指導にはメンタルヘルスケアを含む。
- (5) 正しい

問 16(3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 脳梗塞には動脈硬化が原因で発生する「脳血栓症」と血栓が原因で発生する「脳塞栓症」の2種類がある。
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 17(3)

- (1) 単純骨折とは、皮膚損傷のない骨折(皮下骨折)のことをいう。
- (2) 複雑骨折とは、骨の先端が皮膚から出ている骨折(開放骨折)のことをいう。
- (3) 正しい
- (4) 骨折部の固定のための副子は、先端が手先や足先から少し「出る」ようにする。
- (5) 脊髄損傷が疑われる場合は、負傷者を「硬い板の上に乗せて」搬送すると良い。

問 18(2)

- (1) ノロウイルスは毒素系ではない。
- (2) 正しい
- (3) 潜伏期間は1～2日である。
- (4) 発生時期は「冬季」が多い。
- (5) 嘔吐下痢などの症状が特徴である。

問 19(5)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) ショック不要のメッセージが流れた後も胸骨圧迫を続ける必要がある。

問 20(2)

- (1) 正しい
- (2) 応急手当として推奨されているのは「直接圧迫法」である。
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

[労働生理]

問 21(3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 「内側の髄質」と「外側の皮質」の記述が逆である。(皮質＝灰白質、髄質＝白質)
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 22(1)

- (1) 心筋は、意志と無関係に動く不随意筋である「横紋筋」から成る。
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 23(4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 呼吸中枢は「延髄」にある。
- (5) 正しい

問 24(3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 赤血球の「破壊」が肝臓の機能である。
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 25(1)

- (1) 腎小体で、糸球体からボウマン嚢に濾し出されるのは「血球」「蛋白質」以外の成分で「糖」は含まれていない。
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 26(2)

(1) 正しい

(2) 蛋白質は、膵臓から分泌される消化酵素である「トリプシン」などによりアミノ酸に分解される。

「腓リパーゼ」は脂質を分解する消化酵素である。

(3) 正しい

(4) 正しい

(5) 正しい

問 27(2)

(1) 正しい

(2) 眼は「水晶体」の厚さを変えることにより焦点距離を調整する。

(3) 正しい

(4) 正しい

(5) 正しい

問 28(5)

(1) 筋肉の縮む速さが「適当なとき」に仕事の効率は大い。

(2) 筋肉と神経では筋肉の方が疲労しやすい。

(3) 荷物を持ち上げたり、屈伸運動をする時は「等張性収縮」が生じている。

(4) 筋線維が太くなることにより筋力が増強する。

(5) 正しい



問 29(1)

(1) 正しい

(2) 外部環境が変化しても身体内部の状態を一定に保つ生体の仕組みを「生体恒常性(ホメオスタシス)」という。

(3) 外気が寒い場合、血管は「収縮して血液量を減らし」血液を冷やされないようにして体温を温存する。

(4) 不感蒸泄とは、発汗はせず、意識されずに皮膚や呼吸器からの水分が蒸発する状態をいう。

(5) 特に手足からの発汗が多いのは精神性発汗である。

問 30(2)

A…誤り ストレッサーは、心身の活動の「抑圧」だけでなく「亢進」にも作用する。

B…正しい

C…正しい

D…誤り 物理的な要因もストレッサーの要因となる。

よって

(1) 誤り

(2) 正しい

(3) 誤り

(4) 誤り

(5) 誤り